

令和4年度（2022年度）

管理事業名	千里ニュータウン情報館事業				総合計画 の体系	大綱 6	都市形成		
						政策 1	みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり		
						施策 1	土地利用誘導と良好な景観形成		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 29	千里ニュータウンプラザ費		
部局名	都市計画部	予算執行 所属	計画調整室						
事業の目的と概要 【目的】 日本で初めて本格的に建設された千里ニュータウンのまちづくり推進に資するものとして、その歴史や生活文化に関する資料の展示及び情報の発信並びに交換を行う。また情報館を核として、地域住民その他関心を持つ多様な主体の相互交流及び連携を促進し、千里ニュータウンにおけるコミュニティーの形成を図る。 【概要】 千里ニュータウン情報館展示等事業（資料の収集、展示、情報発信により、地域住民等多様な主体の相互交流、連携を図る。） 千里ニュータウンプラザ管理事業（情報館）（プラザ内の千里ニュータウン情報館の維持管理を行う。）									

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
入館者数	人	5,157	10,468	21,084	千里ニュータウン情報館の入館者数
企画展示等の開催日数 (常設展示を除く)	日	3	43	94	企画展示等の開催日数 (令和5年度行政評価から指標を追加)
ポータルサイトの閲覧者 数	人		36,305	42,494	千里ニュータウン情報館ポータルサイトの閲覧者数 (令和5年度行政評価から指標を追加)

II 活動実績・成果

<p>【成果指標1】入館者数についての評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 入館者数21,084人（前年度比：10,616人の増） 件数の増は、開館日数の制限を行うことなく開館を行い、企画展示等で入館を促したこと。千里ニュータウンの情報を発信し関心を高め、地域住民等の交流や連携を促進するコミュニティーの形成に寄与した。 <p>【成果指標2】企画展示等の開催日数</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日数94日（前年度比：51日の増） 情報館での企画展示及び、オンラインセミナーの開催日数。 新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策を行いながら企画展示の内容を工夫し開催日数を増やすとともに、昨年度に引き続きオンラインセミナーを実施。 入館者数の増加を促すよう実施した。 <p>【成果指標3】ポータルサイトの閲覧者数</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民のみならず広く千里ニュータウンの情報を発信する手法としてはポータルサイトを活用し、千里ニュータウンのまちの成り立ちや情報館や地域に関するイベントを掲載した。 閲覧者数を増やすことで千里ニュータウンへの興味を持つ機会を広め、情報館への入館を促した。 閲覧者数は、令和3年度から集計を開始。 <p>【財務情報に基づいた評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は、同感染症対策として情報館で事務を行ったほか、千里ニュータウンを構成する豊中市と共同で実施したまちびらき60周年記念事業として、ロゴマークの策定及び、千里ニュータウン内の各市民ホール等でも企画展示を行うなど例年以上の取組を行ったことにより、給与関係費が1,438千円増加。 	
--	--

III 課題と今後の取組

<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍以前の令和元年度入館者数（26,749人）には未到達だが、入館者が増加することは、千里ニュータウンへの関心を持つ地域住民等の交流や連携を促進するコミュニティーの形成に貢献するため、今後とも情報館への入館を促進するよう努める。 ポータルサイトの活用は、千里ニュータウンへ興味をもち、情報館への入館や地域のイベントへ参加するきっかけとなるため、新しい情報の更新や内容の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報館としての目的を十分に発揮できるよう、手法や内容を検討し、適正なコストでの運営を行う。
---	---

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目		令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	-	-	-	流動負債	10,717	10,874	157
	未収金	-	-	-	地方債	7	7	-
	財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	3,071	3,229	157
	徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
	その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
固定資産	有形固定資産	40,397	39,385	△1,012	固定負債	99,523	92,200	△7,322
	土地	-	-	-	地方債	44	37	△7
	建物・工作物	40,397	39,385	△1,012	長期借入金	-	-	-
	リース資産	-	-	-	退職手当引当金	30,737	31,060	323
	建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
	無形固定資産	76	76	-	その他固定負債	68,742	61,104	△7,638
	有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	110,240	103,074	△7,165
	土地	-	-	-	純資産	△69,767	△63,614	6,153
	建物・工作物	-	-	-				
	建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-					
図書館資料	-	-	-					
投資その他の資産	-	-	-					
出資金	-	-	-					
長期貸付金	-	-	-					
基金	-	-	-					
徴収不能引当金	-	-	-					
その他債権	-	-	-					
資産の部合計	40,473	39,460	△1,012	負債及び純資産の部合計	40,473	39,460	△1,012	

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
経常収入	地方税	-	-	-
	分担金及び負担金	-	-	-
	使用料及び手数料	-	-	-
	国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-
	府支出金(経常費用充当)	-	-	-
	財産収入	-	-	-
	寄附金	-	-	-
	他会計からの繰入金	-	-	-
	受取利息及び配当金	-	-	-
	その他	4	4	5
経常収入 小計(a)	4	4	5	
経常費用	給与関係費	20,903	39,854	41,292
	物件費	6,432	7,761	7,262
	維持補修費	-	-	-
	社会保障扶助費	-	-	-
	負担金・補助金・交付金等	4	4	4
	特別会計への繰出金	-	-	-
	減価償却費	1,012	1,012	1,012
	徴収不能引当金繰入額	-	-	-
	賞与引当金繰入額	1,512	3,071	3,229
	退職手当引当金繰入額	△3,071	19,684	3,073
支払利息	1,783	1,631	1,187	
その他	-	-	-	
経常費用 小計(b)	28,576	73,018	57,060	
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△28,572	△73,014	△57,055	
特別収入	-	-	-	
固定資産売却益	-	-	-	
その他	-	-	-	
特別収入 小計(d)	-	-	-	
特別費用	-	-	-	
固定資産除売却損	-	-	-	
その他	-	-	-	
特別費用 小計(e)	-	-	-	
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	
一般財源調整額(g)	-	-	-	
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△28,572	△73,014	△57,055	
一般財源充当額	40,018	60,995	63,207	
一般会計からの繰入金	-	-	-	
一般会計への繰出金	-	-	-	
再計	11,445	△12,019	6,153	

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	4	4	5	
行政サービス活動支出	32,376	53,354	55,568	
行政サービス活動収支差額	△32,372	△53,350	△55,562	
投資活動収入	-	-	-	
投資活動支出	-	-	-	
投資活動収支差額	-	-	-	
財務活動収入	-	-	-	
財務活動支出	7,645	7,645	7,645	
財務活動収支差額	△7,645	△7,645	△7,645	
収支差額 合計	△40,018	△60,995	△63,207	
一般財源充当額	40,018	60,995	63,207	
一般会計からの繰入金	-	-	-	
一般会計への繰出金	-	-	-	
前年度からの繰越金	-	-	-	

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】 建物・工作物	千里ニュータウン情報館の建物等減価償却による減 1,012千円
【BS】 その他固定負債	千里ニュータウン情報館のPFI債務返済による減 7,638千円
【PL】 給与関係費	主に60周年記念事業に係る時間外勤務手当が増加したことによる増 1,438千円
【CF】 財務活動支出	千里ニュータウン情報館に係るPFI債務返済及び公共施設償還 7,645千円

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市民一人当たり	コスト 76円 実績 376,944人	コスト 193円 実績 378,781人	コスト 150円 実績 381,238人
入館者一人当たり	コスト 5,541円 実績 5,157人	コスト 6,975円 実績 10,468人	コスト 2,706円 実績 21,084人

令和4年度から開館日数の制限を行うことなく開館を行い、企画展示等で入館を促したことにより、開館に伴う人件費及び光熱水費は増加したが、年間当たりの入館者が増加した結果、入館者一人当たりのコストは前年度比約38.8%となった。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	45,828	1,225	5.33
会計年度任用等	1,765		
特別職非常勤	-		
合計	47,594		

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		17.6	19.6	21.7	2.1
施設維持補修費比率		-	-	-	-
経常費用対公共資産比率		56.8	145.3	113.5	△ 31.8
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		100.0	100.0	100.0	0.0